

…第259回 教養講座「地元学を考える」…

<共催> NPO 法人シャローム

一般社団法人シャローム福祉会

～精神障がいについて学ぼう～

「地域での暮らしについて」

ピアサポーターリカバリーストーリー（体験談）

講 師：相談支援センターリアン所属ピアサポーター

コーディネーター：佐藤 仁子

相談支援センターリアン センター長

日 時：2026年2月21日（土）

13：30 ～ 14：30

場 所：福島市民センター会議室 303 号室

参加費：無 料

※相談支援センターリアン・福島県精神保健福祉会連合会「つばさ会」との共催事業

<講演内容>

ピアサポーターによるリカバリーストーリー。

ピアサポーターの**ピア**とは英語の Peer（仲間）という言葉が語源になっています。ピアの語源は「等しい・似た」という意味をもつラテン語（par）に由来し、日本語では「仲間」「同輩」といった意味を持ちます。

ピアサポートが通常の支援と異なる点は、同じ仲間という立場から支援を行う点です。

ただ、ピアサポートには明確な定義があるわけではありません。同じ障がいを持つ人をサポートしているのであれば、それはピアサポートという活動であり、活動している人はピアサポーターといえるでしょう。

リカバリーストーリーは、精神的な障がいや困難を経験した人々が、自らの回復過程や経験を語ることが指します。「リカバリ」という言葉を聞いたことはありますか？単に「回復」を意味するものではなく、精神障がいのある方が自分らしさを追求する過程を「リカバリ」と呼びます。「自分らしい人生の回復」とも言い換えられます。

申込書

お名前 _____

TEL _____

ご住所 _____

FAX _____

・2月16日（月）までにご返信いただければ幸いです。

<お問い合わせ・FAX 返信先>

まちなか夢工房 福島市本町 5-31 TEL：024-524-2230 FAX：024-525-8285

※今回はイベント『令和7年度 みんなの教室「精神障がいについて学ぼう」』の共催として開催します。